

皆さんを大歓迎します！

農学部の教職員を代表して、一言ご挨拶を申し上げます。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。我々は皆さんを大歓迎いたします。そして、皆さんのご両親、ご家族の方々にも心からお慶びを申し上げます。皆さんが本日この日を迎えることができましたのは、厳しい受験勉強を克服された努力の結果であります。

と同時に、励まして頂いたご家族、ご友人そしてご指導頂いた先生はじめ、多くの方々のお陰だということを改めて深く胸に刻み、感謝の気持ちをいつまでも持ち続けてください。

ところで、新入生の皆さんは、大学受験から解き放たれたことになりましたが、もう勉強はしなくても良いなどとは考えていませんよね。

今まで、皆さんは正解のある問題を解くことに終始してきました。知識の量を試されてきました。世の中では、正解のない問題を解かなければなりません。誰も考えたことのないことを考えるという、知識の質が問われることになります。さらに、世界の状況は変化が大きく、スピードも速く、ICTやAIの進歩で一気にグローバル化します。

日本が今後とも活力ある社会を維持し、世界へ積極的に貢献していくためには、科学、技術、文化のいずれの分野でも独創性や個性を発揮することが重要となります。横並びの発想では問題を解決できません。

ではどうすれば、皆さんの個性を見つけ、磨きをかけ、その力を発揮できるのでしょうか？ 今までの皆さんの受けた教育の中では、好きなことを見つけなさい、自分を見つめなさい、何の仕事が向いているか考えなさいという「自分探し」に没頭することが求められてきたのかもしれませんが、しかし、実態として、皆さんは、宇都宮大学農学部で良かったのだろうか、センター試験の判定でたまたま選んでしまった、本当の自分は違うことが向いていたのではないかと不安に思っている人もいないのでしょうか。

悩むのは大いに結構です。しかし、あなた方はまだ未熟です。

どのような理由があるにしろ、入学金や授業料を御両親は払い、あなた方はこの宇都宮大学に入学したのです。これが、事実なのです。

解剖学者の養老孟司さんは、「個性は徹底的に真似をし、先人の知恵を学ぶことから生まれる」とおっしゃっています。伝統芸能の世界では、弟子は師匠から学び、真似をすることから始めますが、必ず両者には個性の違いが生まれてくるものです。

個性を発揮するとは、なにか特別なことをするのではなく、目の前の問題や課題に対して、常に「自分で考えること」を習慣づける、決して「考えること」から逃げないことです。

皆さんが選択した、我々農学部のカリキュラムは、国内外から高く評価されたプログラムです。基礎となる知識を学んでもらい、それをどのように活用し、どのように問題を解決



するのか、実践的に考える力を習得する工夫が施されています。

ぜひ、不安や迷いは、一度心の奥底にしまい、まずはどっぷり農学部に染まってみませんか。農学とは何なのか？、大学とはどういうところなのか、新たな人との出会いに積極的に関わり、自分の居場所を見つけてください。そして、この学部を是非大好きに成って下さい。そのために、私たち教職員は全力を尽くします。

さらに、もう一つお伝えしたいことがあります。

現在新型コロナウイルス（COVID-19）で我々は苦境に立たされています。皆で協力して困難を乗り越えなければなりません。しかし、時間が経過し、穏やかな空気が世界に流れるときは必ず来ると思います。そのようになったら、世界に旅立ってみませんか？。パスポートをとり、空港に行き、入国管理を通り、飛行機へ搭乗し、数時間後目的地の空港に降り立ちます。飛行機を降りた瞬間、まず私を感じるのは日本と違う“匂い”です。人間の5感、視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚の中で最も脳に直接的に影響を与えるのは、嗅覚です。不思議な香りのする国、香水の香りのする国、何とも表現できない香りのする国、きっと皆さんの脳の扁桃体に強く刻まれる情報になるでしょう。海外を怖がることなく、体で知り、体験し、海外なんてへっちゃらだ、多様な文化や価値観、大丈夫、大丈夫と言えるあなたになってほしいのです。

日本は資源がありません。周りは海で囲まれています。少子高齢化です。小さな島国根性は捨て、この宇都宮大学農学部から、日本のみならず世界で活躍できる人材、世界を変える人材が生まれることを大いに期待しています。皆さんは、その大きな可能性を秘めた逸材です。私たちが今までできなかったことをあなた方なら、きっとできます。そのために、視野を広く、バーチャルだけではなく、実際に体験して下さい。私たちは大いにあなた方に期待し、応援しています。

2020年4月8日 農学部長 齋藤高弘